

## 普通科改革（高校における「普通教育を主とする学科」の弾力化）

### 1 普通科における現状から改革

- 「普通」の名称から生じる一斉的、画一的な学びの印象
- 多くの生徒がいわゆる「文系」、「理系」に分かれ、特定の教科について十分に学習しない傾向



高等学校設置基準の一部改正  
高等学校学習指導要領の一部改正

### 普通教育を主とする学科

普通教育を主とする学科として、普通科以外の学科を設置可能とする。

（高等学校設置基準・高等学校学習指導要領の一部改正を伴う措置で、令和4年度より施行予定）

現 行	改正後（令和4年4月1日施行）
◆普通科	◆普通科 ①学際領域に関する学科 ②地域社会に関する学科 ③その他特色・魅力ある学びに重点的に取り組む学科

普通科の見直しは、1948年（昭和23年）以来初めてとなる。

#### 普通科以外の学科には、

学校設定教科・科目2単位以上、総合的な探究の時間と併せて合計6単位を全ての生徒に履修（原則各年次にわたり履修）

ただし、下記条件を伴う。

- ①学際領域に関する学科 → 大学、国の機関等との連携協力体制を整備
- ②地域社会に関する学科 → 地域と連携協力体制を整備

※上記①、②ともに → 関係機関等との連絡調整等を担う職員配置等の措置を講じる。（措置努力）

普通科以外の学科の位置づけ

●従来の普通科との違い

- ✓ 地域社会や我が国、世界が抱える現代的な諸課題に積極的に関わり、社会の持続的発展に寄与するために必要な資質・能力を育成するための領域横断的な学びに重点が置かれた学び

●総合学科との違い

- ✓ 新たな学科は普通教育に基盤を置くもの  
 ⇨総合学科は、普通科と職業学科とを総合する新たな学科として制度化（平成6年）

●普通科におけるコース制との違い

- ✓ 組織編成上の基本的な単位である「学科」に位置付けることで制度的な裏付けを付与  
 ⇨コースは、教育課程上の概念

出典:文部科学省資料「新しい時代の高等学校教育の実現に向けた制度改革について」（令和3年4月21日）より抜粋

**2 府立高校の普通科設置状況**

京都府における普通科の設置状況は、全国を大きく上回る状況にある。

●**都道府県立高校における各学科の募集定員割合(令和3年度選抜)**

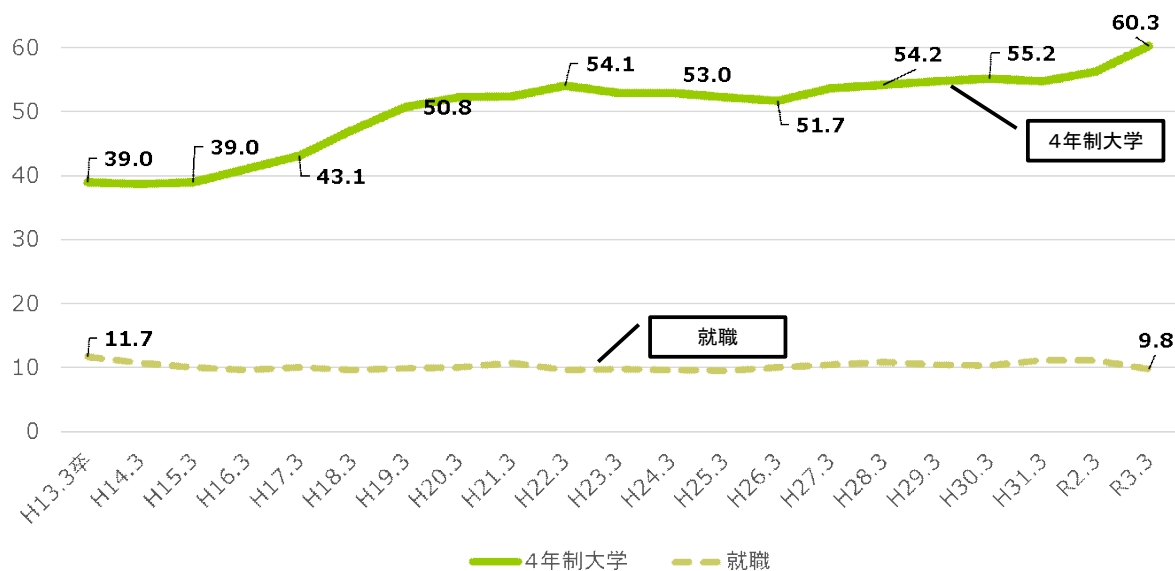
科名	専 門 学 科												総合学科
	普通科	普通科系 専門学科	農業	水産	工業	商業	家庭	看護	福祉	情報	その他		
全国平均	64.6	4.1	4.4	0.5	10.1	6.6	1.2	0.2	0.4	0.1	0.2	7.7	
京都府	76.4	9.2	3.6	0.9	3.6	2.8	—	—	0.3	0.8	—	2.5	

出典：富山県教育委員会調査

### 3 府立高校の進路決定状況の推移

府立高校の進路決定状況については、全日制卒業者の4年制大学への現役進学率が令和3年3月卒は60.3%。昭和62年3月卒業生以来、過去最高となった。一方、就職率は約10%台で推移している。

府立高校の進路決定の推移



単位：%

年度卒	四大学	短大	専門学校等	就職	その他
平成12年	39.0	11.8	21.1	11.7	16.4
平成13年	38.7	11.2	21.2	10.8	18.1
平成14年	39.0	10.4	22.6	10.0	18.0
平成15年	41.0	10.7	23.3	9.6	15.3
平成16年	43.1	10.9	22.7	10.1	13.2
平成17年	47.1	10.4	21.8	9.6	11.1
平成18年	50.8	9.5	19.8	9.9	10.1
平成19年	52.3	9.5	19.0	10.0	9.1
平成20年	52.4	9.7	17.7	10.7	9.6
平成21年	54.1	9.1	18.3	9.7	8.7
平成22年	53.0	8.3	19.5	9.8	9.4
平成23年	53.0	8.1	20.2	9.7	9.0
平成24年	52.3	7.7	20.9	9.5	9.5
平成25年	51.7	7.5	21.8	10.0	9.0
平成26年	53.6	6.8	20.7	10.5	8.3
平英27年	54.2	6.4	20.3	10.9	8.3
平成28年	54.8	5.9	20.3	10.5	8.6
平成29年	55.2	5.9	19.3	10.4	9.1
平成30年	54.7	5.2	20.2	11.1	8.8
令和元年	56.3	5.6	20.6	11.2	6.4
令和2年	60.3	4.4	19.6	9.8	5.9